



# 赤十字やまぐち

Yamaguchi Japanese Red Cross Society

2016  
Autumn  
秋号

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

発行/日本赤十字社山口県支部 〒753-0094 山口県山口市野田172-5 TEL.083-922-0102 <http://www.yamaguchi.jrc.or.jp/>



# JOIN!

困っている人、苦しんでいる人をなんとかしたい。  
誰もが持っているその想いが赤十字です。この  
山口県でも、たくさんの方が「人々のいのちと健康、  
尊厳を守る」赤十字に関わり、活動しています。  
赤十字はあなたの力、あなたの参加を待っています。

## 熊本地震で被災された方々に対し多くのご支援が寄せられています。 温かいご支援に心から感謝申し上げます。

最大震度7。4月14日(前震)から16日(本震)にかけ熊本地方を中心に発生した地震に際して、日本赤十字社では、その直後から、全国の医療救護班延べ207班と仮設診療所を設置するdERU4班が現地入りし、医療支援や巡回診療を実施したほか、避難所生活者への健康支援や被災自治体職員等も対象にしたところのケア活動などを実施してきました。更に、毛布、ブルーシート・安眠セットなどの救援物資の搬送配布や赤十字ボランティアの派遣などを行いました。また4月15日から、被災された方々の生活再建につなげるため義援金を募集開始し、現在も継続しています。これらの一連の支援活動のための資金は、赤十字活動に賛同していただける皆様から毎年、寄せられる社費や寄附金によりまかなわれています。



県民の皆様へ

日本赤十字社山口県支部長 村岡嗣政

酷暑が続いた今年の夏、十種ヶ峰青少年自然の家において青少年赤十字活動のリーダーを養成するリーダーシップ・トレーニング・センターを開催しました。小・中・高校生合わせて70人の児童・生徒が参加し、自ら気づき、考え、実行する生活などを通して、自主的、自発的に行動できる力を養いました。

また、この夏、大韓赤十字社蔚山広域市支社との青少年赤十字相互交流事業もスタートしました。人道・博愛・奉仕の心を身につけ、国際理解・親善<sup>ウラン</sup>を実践する子供たちが健やかに成長し、山口県はもとより国内外で活躍してくれることを願っています。

日本赤十字社山口県支部のホームページで最新情報をチェック!  
<http://www.yamaguchi.jrc.or.jp/>

日本赤十字社山口県支部公式facebookはこちら

日赤山口県支部

検索

Find us on  
Facebook

<https://www.facebook.com/jrcyamaguchi>



# 日本赤十字社山口県支部は、皆様からの支援資金をもとに、 災害救護活動を始め、人間のいのちと健康、尊厳を守る活動を続けています。

【平成27年度決算報告】単位(千円)

歳入: 282,844,816
・社資収入 202,542,212
・本社交付金収入 1,824,013
・繰入金収入 18,822,280
・貸付金償還金収入 40,000,000
・その他の収入 8,061,576
・前年度繰越金 11,594,735

歳出: 282,844,816
・災害からいのちを守る活動 36,916,350
・いのちと健康を守るための各種講習活動 16,662,612
・奉仕のこころを育む活動 16,522,348
・医療・血液事業・社会福祉の推進 8,302,280
・赤十字の国際活動や全国における事業の推進 35,206,615
・市町における赤十字事業の推進 36,763,550
・赤十字思想の普及と社員増強のための活動 37,239,413
・償還金の支出 40,000,000
・支部事業の運営 43,616,878
・翌年度繰越金 11,614,770

※人件費は歳出全体の約3割です。  
 ※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計になっており、この予算には含まれていません。  
 6月10日山口市で開催された日本赤十字社山口県支部評議員会において、平成27年度の事業報告と歳入歳出決算等がそれぞれ審議・承認されました。

## 災害からいのちを守る活動

全国から日赤医療救護班が熊本へ集結  
 避難所や地域を巡回して被災者支援に  
 全力を上げました



### 山口県支部の動き

山口県支部も、山口・小野田赤十字病院から6個班(48名)を派遣し、毛布1,000枚を搬送。また山口県赤十字防災奉仕団も現地に入り、ボランティアセンターのスタッフ支援、避難所巡回、支援物資の搬送等を行いました。青少年赤十字メンバーや学生奉仕団も県内各地で街頭募金を実施し被災地支援にあたりました。



### 被災地に入って

第1班として、被災直後の益城町総合体育館に派遣された。想像していたよりも狭い避難所には人が溢れていて、トイレも不十分な劣悪な環境の中、避難者は余震に眠りを妨げられていた。到着直後に仮設診療所を立ち上げたが、夜中にもかかわらず傷病者が次々に受診に訪れた。中には、元々重い疾患を抱え病院での専門治療を希望していたが、受け入れ病院がないため不安を抱えながら診察に来られた方がいた。幸い、赤十字救護班は災害対応のための装備が充実し、また救護班同士の連携も取れており、最善の治療を行うことができた。改めて、被災者に寄り添えるのは赤十字であると感じた一方、「ありがとう」の声をかけられた時は、こちらが元気をもらい励まされた。

日赤では今後も現地の状況を踏まえ、被災地支援を継続していきます。

## いのちと健康を守るための各種講習活動

各種講習を実施し、困ったり、苦しんでいる人を互いに助け合えるよう活動しています。昨年度は県内で439回の講習会を開催し、15,491名の方が受講されました。

<h3>防災・減災</h3> <p>非常食炊き出し、ロープワーク、毛布でのガウンづくり(避難所で役立つ技術)などについて学べます。</p>	<h3>救急法</h3> <p>急病や出血、骨折などのけがの手当。災害時の心得などについて学べます。</p>	<h3>健康生活支援</h3> <p>高齢の家族や地域の高齢者との接し方、介護の仕方、自身が高齢期をすこやかに迎えるための知識や技術について学べます。</p>	<h3>幼児安全法</h3> <p>子どもに起こりやすい事故の予防とけがの手当、かかりやすい病気の対処法などについて学べます。</p>
---	--	---	---



## 日赤では災害に対する普段からの備えを大切にしています

災害時における救援物資配布への支援  
 協力に関する協定を締結

3月21日、いのちを守る赤十字会員制度をもとにした、災害時における住民の避難生活の質や利便性の維持向上を図る避難所への救援物資の調達、配布等について、赤十字サポーターである株式会社丸久、生活協同組合コープやまぐちとの間で協定を結びました。



### 山口県総合防災訓練に参加

5月29日、土砂災害や巨大地震を想定した訓練にて、山口県支部の医療救護班と萩市・阿武町の赤十字地域奉仕団、山口県赤十字アマチュア無線奉仕団、山口県赤十字防災奉仕団が参加しました。



## 奉仕のこころを育む活動

### 韓国蔚山広域市の青少年赤十字メンバーと、4年間の相互交流事業を開始!

青少年赤十字事業では、「気づき・考え・実行する」という自主・自律の態度目標と、「①健康・安全、②奉仕、③国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げて学校内外で様々な活動に取り組んでいます。今年度は、毎年恒例の「青少年リーダーシップ・トレーニングセンター(加盟各校の児童生徒が参加するリーダー養成研修会)を開催するとともに、大韓赤十字社蔚山広域市支社の青少年赤十字メンバーとの、4年間に渡る相互交流事業を開始しました。中高生メンバーが約1週間、互いの国を訪問し、文化の違いを実感しながら赤十字思想を学びました。



## 赤十字普及活動

山口のサッカーチーム「レノファ山口」とパートナーになりました!  
 お互いの活動理念や活動内容への理解・賛同のもとに、それぞれの発展に協力することを目的としたパートナーシップ協定を締結しました。これからは主に広報や活動への相互協力によりファン・賛同者の増強等に向けて取り組んでいきます。

10月30日、維新公園陸上競技場でのFC横浜戦において献血イベントを開催。献血にご協力いただいた方に日赤とレノファのオリジナルコラボグッズをプレゼントします。

### 赤十字のイメージ

最近では熊本地震災害において救護活動をしたイメージが強いですが、日本国内のみならず、世界的に地域紛争や災害などで苦しんでいる人々を支援する組織というイメージを持っています。いのちを守る赤十字の活動を応援しています。

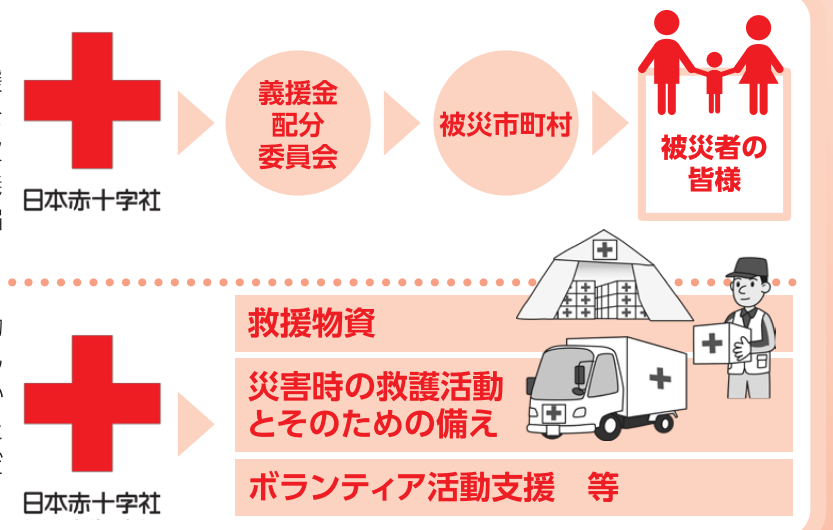


今後の目標について  
 チームとしては、選手・スタッフ・サポーターの方々と一緒にJ1昇格を果たすこと。そして個人としては、それに少しでも多く貢献することが目標です。

### 日赤活動資金と義援金

**義援金**  
 被災者に届けられる支援が「義援金」です。日赤では、手数料などを一切いただくことなく、全額を被災地に送金します。寄せられた義援金の100%が配分委員会を通じて被災者に届けられています。

**活動資金**  
 日赤が行う被災地での救護活動や救援物資の配布等は、もちろん無償です。これらは全て皆さまから寄せられる活動資金がもとになっており、日赤はこの活動資金に支えられています。日々活動に取り組んでいます。



## 今 急激 に減少しています！ 活動資金へのご協力をお願いします

世界190の国と地域に広がる赤十字。人種や宗教、政治的な対立がある中で、「人間のいのちと健康・尊厳を守る」人道的事業を展開するには、中立や公平が保たれなければなりません。そのために、皆様方一人ひとりからお寄せいただく善意の「活動資金」だけが頼りです。いづれでも、ご協力いただきやすい方法で、ご支援をお願いいたします。

- 従来通りの500円以上/年の社費や、任意の金額の寄付金
- いのちを守る赤十字会員(山口県内のコンビニへのAED配備など赤十字の使命に基づく活動への支援)の会費  
1口 2,000円 個人1口以上/年 法人5口以上/年

いのちを守る  
赤十字会員については  
6ページを  
ご覧ください

## 活動資金へのご協力方法

- ①自治会・町内会や赤十字ボランティアを通じて
- ②各市町の赤十字窓口、日赤山口県支部や県内赤十字施設へ直接持参
- ③郵便局・銀行での振込

### ■郵便局でのお振込

口座記号番号	01590-3-4076	加入者名	日本赤十字社山口県支部
--------	--------------	------	-------------

- ・窓口でお振込いただいた場合は、振込手数料は無料です。
- ・郵便局備え付けの振込用紙をご利用いただけます。(専用紙をお送りすることもできますので、必要な場合は山口県支部までご連絡をお願いします。)
- ・正確な入金確認を行うため、いのちを守る赤十字会員にご加入いただける場合は「いのちを守る赤十字会員」と払込取扱票の通信欄にご記入いただくようお願いします。
- ・入金確認後、税制上の優遇措置が受けられる領収書をお送りします。

### ■銀行でのお振込

金融機関	口座番号	口座名義
山口銀行山口支店	(普通) 100606	日本赤十字社山口県支部 支部長 村岡嗣政
西京銀行山口支店	(普通) 2075763	日本赤十字社山口県支部 支部長 村岡嗣政

入金を確認し、税制上の優遇措置が受けられる領収書発行などを行うために、銀行での振込をご希望の場合は、山口県支部までご連絡をお願いします。

- ④クレジットカード決済や⑤コンビニ決済、⑥銀行決済(それぞれ2,000円以上からお取り扱い)の詳しい情報はホームページにてご確認ください。

### ⑦赤十字支援自販機や募金箱

協賛店に設置してある赤十字寄付金付自動販売機での飲み物の購入や市・町役場、協力団体、各種イベントで設置する募金箱から(設置のご協力もお願いしています。)

詳しくお知りになりたい方は、日赤山口県支部ホームページ(www.yamaguchi.jrc.or.jp)をご覧ください。総務課(083-922-0102)までお問い合わせください。



## 赤十字施設インフォメーション

### ■山口県赤十字血液センター 「サッカーも献血も盛り上がり！～レノファ山口タイアップ献血～」

レノファ山口FCと血液センターを含む県内赤十字各施設は、パートナーシップ協定を締結しました。8月11日(木・祝)に、初めてタイアップによる献血イベントを実施。ゲーム開始直前まで会場の維新百年記念公園で献血のご協力を呼びかけ、県内外のサポーターの皆様をはじめ、たくさんの方々にご協力いただきました。本当にありがとうございました！「初めて献血するきっかけになった」という方も多く、記念品のレノ丸くんとけんけつちゃんの限定コラボグッズは大好評♪キャラクターとの撮影会、キッズ献血(子供向け模擬体験)コーナーも賑やかでした。10月30日(日)にも、対横浜FC戦で献血イベントを実施します。レノファ山口の応援も、献血や赤十字へのご支援も、引き続きよろしくをお願いします！

〒753-8534 山口県山口市野田172-5 TEL.083-922-6866 FAX.083-922-7073  
フリーダイヤル.0120-456-122 http://www.yamaguchi.bc.jrc.or.jp/

### 小野田赤十字病院

〒756-0889 山口県山陽小野田市大字小野田3700番地  
TEL.0836-88-0221 FAX.0836-88-2733  
http://www.onoda-redcross-hosp.jp/  
(診療科目) 内科、消化器科、循環器内科、神経科、神経内科、  
外科、整形外科、肛門科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科  
(病床数) 一般病床40床、療養病床92床 (老人保健施設) 入所定員100名



### 総合病院 山口赤十字病院

〒753-8519 山口県山口市八幡馬場53番地の1  
TEL.083-923-0111 FAX.083-925-1474  
http://www.yamaguchi-redcross.jp/  
(診療科目) 内科、消化器科、循環器内科、神経内科、精神科、  
小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、  
産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道科、放射線科、リハビリテーション科、  
歯科口腔外科、麻酔科、(緩和ケア科) (病床数) 475床



## 高額寄付者のご紹介

日赤活動資金へご協力を  
いただきありがとうございます。

ご協力いただいた個人・法人の皆様

100万円以上

・株式会社宇部建設コンサルタント様  
(山陽小野田市)

10万円以上

- ・宇部流通サービス株式会社様  
(宇部市)
- ・株式会社コムズコーポレーション様  
(下関市)
- ・嶋田工業株式会社様  
(山陽小野田市)
- ・株式会社ノムラ様(岩国市)
- ・生活協同組合コープやまぐち様  
(山口市)
- ・株式会社丸久様(防府市)
- ・末廣 泰生様(山口市)

ほか8名

平成28年2月から7月末までに10万円以上のご寄付をいただいた個人・法人の皆様のうち、了承が得られた方のみを掲載しています。



募集状況報告(平成28年2月22日現在)

664名・法人  
1,834,500円

## 入会随時受付中!

- ・個人会員の皆様には、認証番号入りで身元・連絡先・緊急避難場所等を記入できるオリジナル会員証を交付
- ・法人会員の皆様には、額入り会員証を交付
- ・入会時に、いのちや健康を守るために手元にあると役立つ「赤十字ブックレット(救急法等)」、「緊急用呼び笛」等を贈るほか、定期的に赤十字情報をお届け

会員特典

## おいでよ!やまぐち赤十字フェスタへ!

楽しみながら、赤十字をもっと身近に感じていただける体験型プログラムをたくさん準備したイベントを開催します。ぜひお越しください!

日時:平成28年10月23日(日)10時~15時  
会場:総合病院山口赤十字病院  
1階フロア、駐車場周辺(山口市八幡馬場53番地の1)

内容:災害が起こったときの赤十字のお仕事って?「**救護班体験**」  
医師・看護師・薬剤師・介護を体験してみよう!「**病院のお仕事体験**」  
いのちを救う「**献血**」って?「**献血模擬体験~キッズ献血**」  
看護師による血圧測定・健康相談・ハンドマッサージ、避難所で役立つ技術  
非常食炊き出し試食、ミニ縁日コーナー(輪投げ、スーパーボールすくい、ポップコーン、綿菓子)も!

入場  
無料



## 赤十字“いのち・健康・尊厳” フォトコンテスト

作品募集

「いのちと健康・尊厳を守る」ことの重要性について多くの方々へ理解を深めていただくと共に、今後日赤山口県支部が作成する各種の広報資料に活用する写真とするために、コンテスト形式で作品を募集することとしました。応募された写真は、厳正な審査を経て入賞された作品については表彰し、展示させていただきます。また、特選に選ばれた作品は、平成29年度に山口県内で使用する日赤山口県支部ポスターに活用させていただきます、ホームページ、その他の広報媒体へも掲載します。たくさんのご応募をお待ちしています。



募集期間 平成28年9月5日(月)~平成28年11月30日(水) 必着  
各イベントの詳細については、ホームページをご覧ください。

近似、特に必要性が高まっている次の5つの項目を推進するために支援していただける会員を募集しています。

- ①24時間いつでも使えるAED配備
- ②災害時の避難所生活を少しでも過ごしやすく
- ③助け合い支え合える地域づくりの支援
- ④青少年に生きる力を育む
- ⑤赤十字の使命に基づく活動の充実

日赤山口県支部では、昨年9月に開始した“いのちを救い、守り、育む”赤十字会員制度をもとにした、人口集中地区に立地するコンビニエンスストアへのAED配備について、セブンイレブン吉敷下東店に、第1号機を設置しました。

